鳥　海　讃　歌

ＧＴＨ通信　第５５号　令和３年１１月１５日（月）
校長室より

「五感」を大切に！

令和３年１１月１４日（日）午前７時、にかほ市民歌のメロディーに送られ、第２学年は修学旅行に出発しました。コロナ禍で行動制限の続く中ですが、修学旅行が再開できたことを大変嬉しく思います。秋田県内をめぐる一泊二日の日程となりましたが、生徒一人ひとりが「五感」を総動員して楽しんでほしいと願っております。

ここで私は、皆さんに一度立ち止まって風景や日常生活、人物やものごとをじっくり、ゆっくり、はっきり観ることを提案します。

私はこのところ、朝のウォーキングをルーティーンにして、１日を始めています。通勤前の午前５時から６時を目処に約５ｋｍを歩いています。最近は日の出が遅く、６時でさえも薄明かり。携帯用の電球をつけて時に早足になったり歩幅を広げたりして、リズムを変えながら朝のひとときを楽しんでいます。

４月中旬、思い切って「ガラケー」から「スマホ」に変えて、「ヘルスケア」アプリを起動させ、走行距離や消費カロリーをチェックしながら散策しています。子吉川沿いの堤防から見える朝日に輝く鳥海山や本荘公園の紅葉の美しさに感動して、スマホを取り出しパチリとシャッターを切っています。取った写真を見て驚くのは、「肉眼」で見た風景よりもスマホで見る紅葉や風景の色彩が鮮やかなことです。デジタル機能はクリアでシャープ、色鮮やかな風景を演出してくれます。

しかし一方で私は、肉眼で感じた風景の色彩感覚とのギャップを意識しないではいられません。「肉眼」がとらえる風景や情景よりも、デジカメが写し出した鮮明な画像が「本物」或いは「真実」であると錯覚してしまうことを恐れています。「すべてが綺麗でクリアに写るデジタル技術は、人間の持つ繊細な感覚を麻痺させてしまうのではないか」という不安を抱いています。

人間の成長に知恵や知識、技能や技術の習得は欠かせません。これからは、ますますデジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）が進み、生活のあらゆる場面に適用され、私たちの生活を「便利」にしてくれるでしょう。

このような情況だからこそ、人間の持っている繊細で微妙な感覚、すなわち「五感」を磨く必要があるのではないでしょうか。「目、耳、鼻、舌、皮膚」のそれぞれが感じ取る感覚を、みなさん一人ひとりが大事にして、各自の「表現力」で伝えてゆく機会を大切にしたいものです。「ブルー（blue）」が日本語では情況に応じて「青・碧・紺・藍」等、さまざまなことばで表されていることは、私たちの「肉眼」が決してデジタルではなく、微妙なセンサーが「わびやさび」をも含めて感じ取っているからではないでしょうか。

時代が求めている制度や仕組み、生活の様式や形態、地域や世の中のあり方は、ＤＸの推進も含めて、人間の生活を「便利」に導くための視点で考えられています。コロナ禍での新しい生活様式を踏まえた学校生活も、メディアの力を駆使して変化してきました。今後は益々デジタル化が進み、仁賀保高校への注目度も高まってくるでしょう。だからこそ、敢えて生徒のみなさんには「五感」を大切に、特に自分の「目」で見て、「耳」で聞いて、或いは味わい触れてほしいと思います。五感意識を忘れずに行動することで「豊か」な人間性を培うことができると、私は確信しています。

★　アイコンタクト（ｉcon ｔ act３）を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！
★　メモをとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
★　意識力＝意思・意志（瞬間）＋気力（持続）です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
★　ＧＴＨは、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
★　「自己有用感」を高めてください。そのためにあなたは何に挑戦しますか?
　自分が誰かの役にたつためには、感謝の心と自己肯定感を持つことが大切です！
★　*ＮＰＴ*は仁賀保高校プログラミング思考の略称です。ＮＰＴを意識して、学びを活性化しましょう。プログラミングは、Trial＆Errorで進めましょう！
★　「自分事」「当事者意識」を持って取り組む仁高生に変身しましょう！